

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	アスク向日保育園	施設種別	保育園
評価機関名	特定非営利活動法人あい・ライフサポートシステムズ		

平成29年3月30日

総 評	<p>アスク保育園は、一人ひとりの子どもたちと接する職員が、気持ちよく働けることが、よい保育につながるという考えのもと「職員が楽しく働けること」を理念のひとつに掲げています。平成28年1月に京都府の「京都モデル」ワーク・ライフ・バランス認証企業の認証を取得し、年間休日の増加や子どもの看護休暇を有給化するなど、職員満足向上に向けた取り組みを実践しています。</p> <p>アスク保育園に入って最初に気づくのは、玄関のすぐ脇にある職員室がカウンターだけで仕切られ、壁のないオープンな空間になっていることです。園長をはじめ職員室にいる職員からも、保育室や園庭の子どもたちの様子がよくわかるようになっています。</p> <p>保育園での子どもの様子を、しっかり家庭に伝えていくという方針での努力もされています。職員室の横の大きな掲示板には、各クラスの様子や出来事をまとめた掲示物が毎日貼りだされ、夕方お迎えにきた保護者が、自分の子どものクラスだけでなく、他のクラスでどんなことが今日一日あったのかを、知ることができるように工夫されています。</p> <p>0～2歳児のクラスでは毎日「連絡ノート」に保育園の子どもたちの様子が詳細に書かれ、またベテランの保育士がノートの書き方を若い職員にアドバイスしています。園での事故は小さいケガであっても、保護者に状況を丁寧に説明しています。</p> <p>こうした取り組みを通して、安全を第一に保護者が安心して仕事に行くことができる保育に日々取り組んでいます。</p>
特に良かった点(※)	<p>○保護者や地域の意見を反映させる仕組み</p> <p>保護者アンケートは行事ごとのアンケートのほか、全体アンケートも毎年とられています。28年3月に実施された保護者アンケートでは、在園する118世帯のうち72世帯から回答が寄せられ、高い回収率になっています。自由記述での意見も多く、職員の言葉遣いや対応などの一つ一つの意見に園として丁寧に回答しています。</p> <p>近隣から寄せられた送り迎えの保護者の車の駐車への苦情に対応するため、送り迎え時間に園庭の一部を使って駐車スペースを確保し、近隣への配慮がされているなど、寄せられた意見を受けた改善に、常に心がけています。</p> <p>○職員の資質向上への取り組み</p> <p>28年度から新たに「個人目標管理シート」を導入して、保育士一人ひとりが組織目標をかみくだいた個人の1年間の目標を立て、達成方法やスケジュールを明記するという実践をしています。目標は目標難易度評価でチェックし、易しすぎる</p>

	<p>目標設定にならないようにしています。</p> <p>○アレルギー対応 事故を防ぐための多重チェックの仕組みが整っています。医師の除去食指示書により、栄養士がチェック表を記入し、そのチェック表を調理段階で2名の調理スタッフが、配膳時に2名の保育士がチェックする体制になっています。 乳児ではアレルギー食の子どもは通常の机ではない白い机と色違いの食器で区分し、また他の子どもと交換したりしないよう適切な距離をとったり、年長では横に担任が付くなど誤食を防ぐ取り組みがなされています。</p> <p>○子どもへの関わり 園児一人ひとりの個性に向き合い、試行錯誤をしながら気持ちを受け止める努力をされています。 保育室からすぐに出て行こうとする園児に対しては、時には追いかけて、また時には自由にさせたりしながら関わり、長い時間をかけて落ち着かせたり、お泊り保育で、まだ夜におむつが必要な年長さんには、まわりの園児に気づかれないような配慮するなどの関わり方をしています。</p>
<p>特に改善が望まれる点(※)</p>	<p>○事故防止マニュアルのさらなる改善 園の第一目標である安全な保育に向け、アクシデントレポートには「考えられる最悪の事態」と「最悪を予防する対策」をしっかりと記載するようになっていて、多くの気づきが蓄積されています。 ただ、こうしたアクシデントレポートで発見された「最悪を予防する対策」の知見が、全体の事故防止マニュアルに反映される仕組みになっていないため、園全体に活かされるようになっていません。 アクシデントから得られた知見を、定期的に事故防止マニュアルに反映させる仕組みが求められます。</p>

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【保育所版】

評価結果対比シート

受診施設名	アスク向日保育園
施設種別	保育園
評価機関名	あい・ライフサポートシステムズ
訪問調査日	平成29年1月25日

保育所評価基準 対比シート

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 保育の理念・基本方針・目標	I-1-1(1) 保育の理念、基本方針・目標が確立されている。	① 保育の理念が明文化されている。	a	a
		② 保育の理念に基づく・基本方針・保育目標が明文化されている。	a	a
	I-1-1(2) 保育の理念、基本方針・目標が周知されている。	① 保育理念・保育方針・保育目標が職員に周知されている。	a	a
		② 保育理念・保育方針・保育目標が利用者等に周知されている。	a	a
I-2 計画の策定	I-2-1(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。(非該当)	a	a
		I-2-2(2) 保育の計画が適切に策定されている。	① 保育課程が保育理念・保育方針・保育目標に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して編成されている	a
	② 保育課程と年間指導計画、短期指導計画との整合性が図られている。		a	a
	③ 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき改定されている。		a	a
	④ 保育課程の編成や指導計画の作成が組織的に行われている。		a	a
	I-2-2(2)	⑤ 保育課程・指導計画が職員や利用者等に周知されている。	a	a
I-3 管理者の責任とリーダーシップ		I-3-1(1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明されている。	a
	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。		a	a
	I-3-2(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	a	a
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	a	a

[自由記述欄]

I-1-1(1) ①パンフレット、重要事項説明書、ホームページに、法人の保育理念や基本方針を明確に記載しています。
 I-1-1(1) ②年度末の保護者説明会で、次年度の保育目標を保護者に対し説明しています。
 I-1-1(2) ①9月の職員会議で法人の保育理念の1つである「安全・安心を第一に」について園長から説明し周知しています。今後も順次職員会議の場で保育理念の周知を行う予定です。
 I-2-1(1) 向こう5年分の中長期計画を策定し年度末に見直しと修正が行われました。見直しの際には、その年度の実績と反省を踏まえ、より具体的な言葉で計画に反映することが望まれます。
 I-2-2(2) ①中長期計画をもとにして、クラスごとに年間の保育課程を作成。その保育課程をもとにして月案、さらに月案を落とし込んで週案を作成しています。週案は職員室に全クラス分を掲示して全職員に共有しています。
 I-2-2(2) ⑤月案の内容を各クラスだよりで、「今月のあそび」「今月のうた」のように具体的に記載することで、各月の保育計画に基づいた保育目標やねらいを保護者に対してわかりやすく伝える仕組みを構築しています。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果		
			自己評価	第三者評価	
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	a	a	
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	a	a	
		① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	a	a	
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	a	a	
		II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	a	a
			② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	a	a
	II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	a	a	
		① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	a	a	
II-3 地域との交流と連携	II-3-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	a	a	
		① 利用者や地域とのかかわりを大切にしている。	a	a	
			② 事業所が有する機能を地域に還元している。	a	a
	③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。		a	a	
II-3-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	a	a		

[自由記述欄]

II-2-(2) ①職員の出勤簿はパソコンで管理され、毎月有給消化をはじめ就業状況がデータで確認できるようになっています。園長の面談で職員の意向を聞き、働きやすい環境を目指し改善に努めています。

II-2-(2) ②今年度から全職員対象のストレスチェックが始められています。結果は本人に通知され、希望により専門のカウンセラーに相談できる体制ができています。

II-2-(3) ①職員全員が赤十字の幼児安全法講習を受講し、心肺蘇生・AEDなどの知識を習得することを目指しています。目標シートを作成し継続的に記録したり、資格取得により資格手当がつくなど、意欲向上への工夫がみられます。

II-3-(1) ①勤労感謝の日に合わせて、4歳児が5人ずつのグループを作り、交番や郵便局、駅を訪問し感謝の気持ちを言葉で伝えていきます。園児手作りのカレンダーを渡し、地域の方々に喜んでもらえるような取り組みを行っています。

II-3-(1) ②週1回園庭開放が行われています。夏のプール遊びの際は、夏休みの近所の幼稚園の園児たちも参加し、地域の子供や保護者同士の交流の場になっています。水遊びの安全についての研修を受講し特に安全面に気を付けています。毎月子育て支援として園庭を利用した「ほっかほか」という制作活動を行い、地域の方が自由に参加できるよう呼び掛けています。おめん作りなどを一緒にしながら、子育て相談にも対応しています。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	a	a
		② 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	a	a
	Ⅲ-1-(2) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	a	a
Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① 定期的に第三者評価を受診し、事業内容の改善に活かしている。	a	a
		② 定期的に自己評価を行い、その結果と課題を職員間で共有し、改善に向けた取り組みを行っている。	a	a
	Ⅲ-2-(2) サービス実施の記録が適切に行われている。	① 入園面接・健康診断など定められた手順に従ってアセスメントを行っている	a	a
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a	a
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	a	a
	Ⅲ-3 サービスの開始・継続	Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	b
② 保育の開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。			a	a
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		① 転園・卒園にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a	a

[自由記述欄]

Ⅲ-1-(2) ②行事ごとに保護者へのアンケートを実施しています。園児ごとの連絡ファイルに同封したり、園玄関付近の意見箱で回収するなどの工夫で、多くの意見を集めています。アンケート結果は細かく保護者へ報告し、「アンケート内容と回答」として保存しています。
 Ⅲ-3-(1) ②入園説明時に、保護者へ重要事項説明書を明示しながら、園長より説明しています。各保護者が理解しやすいように、時間をかけ丁寧に説明し、最終的に同意書に記入をもらう仕組みになっています。同意書は、一人ひとりの児童票のファイルに綴じて保管されています。

IV-1 子どもの発達援助

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-1 子どもの発達援助	IV-1-(1) 健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	a	a
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	a	a
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	a	a
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	a	a
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	a	a
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	a	a
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	a	a
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	a	a
	IV-1-(2) 保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	a	a
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	a	a
	IV-1-(3) 保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	a	a
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	a	a
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	a	a
		④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている	a	a
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	a	a
		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	a	a
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てよう配慮している	a	a
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	a	a
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	a	a
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	a	a
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	a	a

[自由記述欄]

IV-1-(1) ⑤ 1月はお雑煮風の煮物や膾などお正月メニュー、10月のハロウィンといった行事食を取り入れています。
 IV-1-(1) ⑥ 全クラスの食器にあえて割れる素材の食器を使い、食器を丁寧に扱うということを子どもたちに身につけてもらう工夫がされています。
 IV-1-(1) ⑦ 保護者対象の試食会では、0～5歳児の食べ方の違いを学べるビデオを使い、家庭での食事に役立ててもらっています。
 IV-1-(3) ③ 絵本コーナーやポルタリングコーナーが設置され、子どもたちが遊べる空間となっています。
 IV-1-(3) ⑤ なかなか表現活動に落ち着いて取り組めない子どもには、落ち着くまで別のことを一緒にするなど、子どもの気持ちを受け止めながら取り組まれています。
 IV-1-(3) ⑩ 職員室に一番近い保育室で異年齢の子どもたちが一緒に遊べるようになっています。補食のおにぎりも自園調理されています。
 IV-1-(3) ⑪ 園外での障害児対応の研修資料を園内に共有するさいに、研修を受けた職員による手作りの資料が作成され、より分かりやすく全職員に伝える工夫がされています。

IV-2 子育て支援

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-2 子育て支援	IV-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	a	a
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	a	a
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	a	a
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	a	a
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	a	a
		⑥ 子どもの発達記録やケア記録、保育要録など保育に必要な記録が整備され、保育内容（指導計画）や小学校など専門機関との連携に活かされている。	a	a
	IV-2-(2) 一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	a	a

[自由記述欄]

IV-2-(1) ②個人面談の前に個人面談記録表に、担当が保護者に伝える内容を記載します。園長が事前にその内容をチェックして保護者に担任の主観だけで情報が伝わってしまうことを防いでいます。面談後の記録も全て園長がチェックする仕組みになっています。

IV-2-(1) ③保護者会組織は、保護者負担軽減のため設けられていませんが、行事のお手伝いやクラス懇談会には多くの保護者が参加しています。

IV-2-(1) ④職員室だけでなく各クラスにも虐待対応のマニュアルが設置されています。

IV-3 安全・事故防止

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-3 安全・事故防止	(1) 安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	a	a
		② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	a	a
		③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	a	a
		④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	a	a
		⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	a	a

[自由記述欄]

IV-3-(1) ①調理場の衛生管理マニュアルは内容をしっかり共有するため、改定後に調理場の職員全員で確認のサインをしています。

IV-3-(1) ④毎月の避難訓練では火災や地震を想定した「通報訓練」「避難誘導訓練」「消火訓練」が実施されています。